

大学院で応募できる

奨学金や研究者養成のための各種制度について

名古屋大学 博士課程教育推進機構 キャリア支援・教育部門

キャリア教育室（博士課程教育推進機構キャリア支援・教育部門）には、大学院進学にあたっての金銭的な不安や大学院に進学したメリットについての相談が学部学生から寄せられることがあります。今は以下のように様々なニーズに合わせた支援制度があります。それぞれHPで確認したうえで、気になる制度があれば、問合せ先に相談してみてください。支援制度によっては、応募時期や対象者が限られる場合がありますので、早めに行動を起こすようにしましょう。

なお、進学への不安についての相談は以下を利用してください。

■ 学生支援本部学生相談センター

<https://www.gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp/>

⇒進路、学業、将来、対人関係、家族との関係など学生生活上の悩みや課題について相談できます。

■ 大学院生のためのキャリアガイダンス(毎月1回開催) <https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/>

⇒博士後期課程進学後のキャリア形成について情報が得られます。

1 名古屋大学 HP の「教育/キャンパスライフ>各種免除制度・奨学支援」にある各種制度

入学後に受けられる、各種免除・奨学支援が紹介されています。

<http://www.nagoya-u.ac.jp/academics/scholarship/index.html>

奨学金	日本学生支援機構 (JASSO) 奨学金	大学院生は貸与奨学金のみですが、業績優秀者に対する返還免除制度があります。申請時期は4月中旬頃です。
	民間・地方公共団体奨学金	給付型と貸与型があります。奨学財団等により対象となる学年・研究科が指定されている場合があります。申請時期は奨学金によって異なります。
入学料免除		経済的理由などにより納付が困難な学生を対象に、入学料を免除する制度です。入学手続き時に免除申請の必要があります。
授業料免除		経済的理由などにより納付が困難な学生を対象に、授業料を免除する制度です。在校生は3月上旬、新入生は4月中旬頃までに免除申請の必要があります。経済的理由による授業料免除に加え、以下の2,3,6の各制度の採用者・内定者に対する授業料免除制度があります。

学内問合せ先：学生支援課（各制度の採用者・内定者に対する授業料免除を除く）

各制度の担当窓口（各制度の採用者・内定者に対する授業料免除について）

2 日本学術振興会 特別研究員 (DC1、DC2)

優れた若手研究者に研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る制度です。（返還不要）

<https://www.jsps.go.jp/j-pd/>

博士前期課程2年次（医学博士課程1年次）4月頃に申請し、採択されれば博士後期課程1年次（医学博士課程2年次）より研究奨励金を得られます。

学内問合せ先：研究協力部研究事業課外部資金係（第一） E-mail：ken-jsps@adm.nagoya-u.ac.jp

3 名古屋大学融合フロンティアフェローシップ(融合フロンティアフェロー)

東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業(融合フロンティア次世代リサーチャー)

博士後期課程学生が、学位取得後に社会の多様な場で活躍することを目的として、優秀で志のある学生に対し、標準修業年限中の経済的支援とともに様々なスキルを涵養するプログラムです。(返済不要)

経済支援；研究専念支援金 18 万円/月、研究支援：研究費 25 万円/年

学内問合せ先：博士課程教育推進機構 <https://dec.nagoya-u.ac.jp/>

4 ティーチングアシスタント (通称 TA)

各研究科において学部の講義や実習を支援することで、大学院生が教育的な経験を積むことができる制度で、その対価として手当が支給されます。進学後に研究科や研究室で募集があります。

学内問合せ先：研究室の指導教員

5 リサーチアシスタント (通称 RA)

各研究室において学部生などの後輩の研究の指導や、教員が行う共同研究に参画することで、大学院生が研究経験を積むことができる制度で、その対価として手当が支給されます。主に、研究室内で研究費があり参画すべき研究がある場合に募集があります。

問合せ先：各研究室の指導教員

6 卓越大学院プログラム

名古屋大学では現在4プログラムを実施している。5年間一貫の博士課程学位プログラムで卓越した博士人材になるような特別教育を研究室の研究と並行して行うものです。

博士前期課程進学前後に各プログラムの応募時期に申請し採用をされると、特別プログラムの受講資格とリサーチアシスタントとして、金銭的支援が得られます。(返還不要)。

■トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム (GTR)

・対象研究科	理学研究科：理学専攻（物質・生命化学領域、生命理学領域） 工学研究科：有機・高分子化学専攻／応用物質化学専攻／生命分子工学専攻 生命農学研究科、創薬科学研究科
・入学選抜	M1の春（秋入学者は、入学する年の春または秋より選択）
・RA支援内容	RA支援(博士前後期)：8.3万円/月程度 派遣支援（国際学会への参加：1回、国内外での研究：上限150万円） 授業料減免（博士後期課程の特に優れた学生）：133,950円/年 ※詳細はHPを確認 (https://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/gtr/)

問合せ先：GTR学生支援室 E-mail：gtr@itbm.nagoya-u.ac.jp

■未来エレクトロニクス創成加速DII協働大学院プログラム (DII)

・出願資格	工学（物理工学系、マテリアル工学系、電気電子情報工学系、機械・航空宇宙工学系、エネルギー理工学系および関連専攻）の博士前期課程に進学が決まっている者、G30自動車工学プログラム博士前期課程（機械系・電気系）およびG30物理工学プログラム博士前期課程に入学した者が対象です
・出願受付時期	博士前期課程へ入学予定前の1月ごろ
・支援内容	1～2年次（博士前期）月10万円、3年次以降～5年次（博士後期）月20万円 ※詳細はHPを確認 (https://www.dii.engg.nagoya-u.ac.jp/)

問合せ先：DIIアドミッションオフィス(AO室) E-mail：ao@dii.engg.nagoya-u.ac.jp

■情報・生命医科学コラボレーション on グローカルアライアンス卓越大学院プログラム (CIBoG)

・対象研究科	医学系研究科 生命農学研究科：応用生命科学専攻 情報学研究科：情報システム学専攻/知能システム専攻 創薬科学研究科
--------	--

	に進学した M1 対象（医学のみ 4 年生博士課程に進学した D1 対象）
・ 支援内容	1～2 年次（博士前期）月 8.5 万円、3～5 年次（博士後期）月 15 万円 その他に海外旅費助成や英語学習支援などあり ※詳細は HP を確認 (https://cibog.med.nagoya-u.ac.jp/)

問合せ先：CIBoG 卓越推進室 E-mail: cibog@med.nagoya-u.ac.jp

■ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム (TMI)

・ 対象研究科	人文学研究科 法学研究科：総合法政専攻 経済学研究科：社会経済システム専攻/産業経営システム専攻 情報学研究科：数理情報学専攻/複雑系科学専攻/社会情報学専攻/ 心理・認知科学専攻、情報システム専攻、知能システム工学専攻 工学研究科：電気工学専攻、電子工学専攻、情報・通信工学専攻/ 機械システム工学専攻/マイクロ・ナノ機械理工学専攻/ 航空宇宙工学専攻/土木工学専攻 環境学研究科：地球環境科学専攻、都市環境学専攻、社会環境学専攻
・ 出願受付時期	博士前期課程 4 月入学予定前の 2 月頃及び 10 月入学予定前の 7～8 月頃
・ 支援内容	1～2 年次（博士前期）月 8 万円程度（雇用）、3～5 年次（博士後期）月 18 万円 国際学会への参加や海外留学のための旅費等の支援 など ※詳細は HP を確認 (https://www.tmi.mirai.nagoya-u.ac.jp/)

問合せ先：TMI 卓越推進室 E-mail: tmi@mirai.nagoya-u.ac.jp

7 リーディング大学院

上記 6 の卓越大学院と同様に 5 年間一貫の博士課程学位プログラムで、産官学にわたりグローバルリーダー育成の学位プログラムを研究室の研究と並行して行うものです。

■実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム

・ 出願資格	本学大学院のいずれかの研究科の博士前期課程に入学予定の者、または、すでに入学している者で、博士取得に至るまで本プログラムをやり遂げる意思を持った者が対象です
・ 支援内容	博士後期課程における授業料免除、半額支援など ※詳細は HP を確認 (http://www.rwdc.is.nagoya-u.ac.jp/)

問合せ先：情報学研究科担当窓口・リーディング大学院事務局 E-mail: office@rwdc.is.nagoya-u.ac.jp

8 海外留学プログラム

自分の専攻科目を海外の大学で勉強したり研究したりすることが可能です。

名古屋大学の制度を理解して、指導教員と相談して実施してください。渡航費用の負担や、奨学金の制度があることもあります。

<http://ieec.iee.nagoya-u.ac.jp/ja/abroad/index.html>

学内問合せ先：グローバル・エンゲージメントセンター

9 ジョイントディグリープログラム

医学系、生命農学系、理学系、工学系研究科ではジョイントディグリープログラムが行われています。一定期間、提携の海外大学において研究を行う制度で、経済的支援も行われます。

学内問合せ先：各研究科の教務担当窓口

その他、研究科ごとにも様々な制度があります。また、情報は更新されることがあるため、各問合せ先や指導教員、研究科の教務で最新情報を確認してください。